

事業名	常時啓発事業費		
細事業名	明るい選挙推進啓発事業費	財務コード	115603
担当部課室	総務 部	市町村 課	行政選挙 担当 (内線) 8771

調書番号	18
------	----

I 事業の概要

実施期間	始期 S36 年度 ~ 終期 年度
実施主体	県(一部委託)
目的	だれ(何)を対象に 県民(特に子供の頃から) → その対象をどのような状態にして 選挙の意義や重要性の理解が深まっている。 → 結果、何に結びつけるのか 明るい選挙(選挙が公正かつ適正に行われ、県民の意思が政治に正しく反映される選挙が行われること。)の実施。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るい選挙推進強調月間事業</li> <li>・明るい選挙ポスターコンクールの開催及び選挙啓発キャッチフレーズの募集(県下小中高高等学校の児童・生徒を対象とした募集及び表彰。募集期間は5月中旬から9月中旬。表彰は11月の明るい選挙推進大会で行う。)</li> <li>・啓発資料作成(選挙制度、投票率の推移等をまとめた中学3年生用副読本の作成。中学校で社会科の授業等で活用する。)</li> <li>・山梨県明るい選挙推進協議会へ事業委託(啓発ポスターコンクールの企画・立案等の事業を委託する。)</li> </ul>

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
活動指標	選挙啓発ポスターとキャッチフレーズの応募数	目標	9,000	9,000	9,000	10,000	10,000	10,000
		実績(見込)	9,062	9,050	10,220	10,808	10,227	10,000
		達成率	100.7%	100.6%	113.6%	108.1%	102.3%	100.0%
		達成区分	b	b	b	b	b	b
成果指標		目標						
		実績(見込)						
		達成率						
		達成区分						
決算(予算) 単位:千円		2,371	2,430	2,447	2,350	1,797	1,788	1,880

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価	前年同程度の応募があり、予定どおりの活動量があった。
成果指標	b		選挙啓発ポスターやキャッチフレーズの応募により、多くの県民が子供の頃から選挙の意義を考えるきっかけになるとともに、応募者の家族にとっても正しい選挙を考える機会となり、また、優秀作品は様々な選挙啓発活動に利用しており、県民の明るい選挙への意識は深まっている。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( )		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	毎年同程度の応募があり、新たに応募する生徒は毎年発生していることから、児童生徒への意識啓発は累積して広がっていると考える。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( )		
その他	説明	H29年度に啓発用冊子の電子化や、ポスター及びキャッチフレーズの集計業務の委託などを行い、経費の節減や事業実施の効率化を図った。		
見直しの必要性	無	選挙の意義や重要性の啓発活動を行う本事業の継続は重要であり、既に経費の節減や業務の効率化を図っているため。		

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明	
-------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。